

丹後に米軍基地いりません 10・4府民大集会



米軍基地建設の問題が次々と明らかに

- 日本の防衛とは無関係。アメリカ本土の弾道ミサイル防衛のための目となるXバンドレーダーは地域の危険を増すだけ。
- 集団的自衛権行使容認で安倍首相はアメリカに飛ぶミサイルを迎撃すると発言。京都が標的になることに。
- 京丹後市、京都府が求めていた要請を政府と米軍はことごとく反故に。防衛大臣の無責任ぶりが明らかに。
- ドクターヘリ運行での停波問題。青森車力では米軍が海難事故の時に「停波していない」と発言。(京都新聞) 防衛省説明のウソが明らかに。
- 基地建設で穴文殊一帯を破壊。国定公園内であることも米軍は無視。山陰海岸ジオパークの自然や絶滅危惧種への影響は未解決。
- 米軍・軍属による犯罪、事件、事故への不安は無くすることはできません。

写真は、上：米軍基地が置かれる場所、海食洞の真上にレーダーが置かれる。中：前方が基地が置かれる場所。棚田百選に選ばれた場所からすぐ先。下：昨年6月に開いた現地での集会。

京丹後・経ヶ岬への米軍基地建設は5月末から米軍基地設置への工事がはじまりました。米軍は、今年10月にXバンドレーダー本体を設置、試験運用をし、12月には本格運用するとしています。これに伴い、米兵と軍属が、10月以降140名以上が配置されていくこととなります。安倍内閣は、7月1日、集団的自衛権行使容認を閣議決定しましたが、米国への弾道ミサイルを集団的自衛権行使として迎撃するとしていることから、京都がアメリカの核ミサイル戦争の最前線となります。

また、現在進められている設置工事は、穴文殊一帯を破壊して進められ、松の木の伐採、穴文殊一帯の岩を削り、現在、基礎工事とコンクリート柱の設置などが行われています。さらに、米軍・軍属の居住地は地元の意向確認なしに用地の選定が進められる中、米軍基地設置を許さないたたかいが重要となっています。

この集会は、Xバンドレーダーの搬入・設置と米軍基地設置に反対し開催するものです。多くの方のご協力、ご参加をよびかけます。

10月4日(土) 午後2時～

記念講演

中央安保破棄実行委員会 小泉 親司氏

地元からの訴え 他

米軍基地建設反対アピール行動

場所：京丹後市宇川 宇川体育館(旧宇川中学)

京都市内・南部からは現地までのバスを出します。府民の会の京都市内からのバスは 075-801-2308 までお問い合わせください。

主催・よびかけ：米軍基地建設反対丹後連絡会(代表：岩崎晃)、米軍基地建設を憂う宇川有志の会(代表：三野みつる 0772-76-1306)、米軍基地いらない京都府民の会(共同代表：岩崎晃、吉岡徹、岡田英樹、池田豊、森下総子、中村和雄、河口隆洋、久保田憲一、尾崎望、075-801-2308) 2014年9月